

山口市菜香亭(さいこうてい)(サイン)

所在地:山口県山口市

サイズ:900×1200 3パターン



1. 明治維新150周年にあたる2018年に向けて文化財の再整備
2. ホーローインクジェット加飾におけるサインの採用
3. フォント12pt以上は問題無し(山口市見解)
4. 退色(色あせ)における10年保証の保証書提出済み
5. 公共施設(文化財)におけるホーローインクジェット加飾の実績

※今後、日本では観光立国を推進する中で国内に存在する城・史跡等の文化財の再整備を予算を設け行う予定。



山口中河原御茶屋跡



Yamaguchi Nakagawara Ochaaya Ate: The Site of the Guesthouse

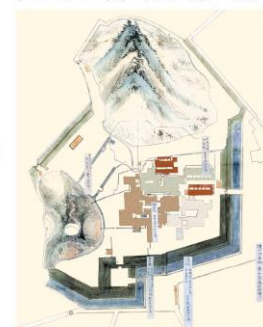
In April 1863, at the time when the Choshu Domain Lord, Takachiho Mōri was preparing for war to expel foreigners, he departed from the coastal town Hagi and moved to Yamaguchi Nakagawara Ochaaya (today's site) for his residence. Takachiho Mōri resided temporarily at this Ochaaya for nearly three years until the Yamaguchi Oyakata Yamaguchi Castle was constructed in 1866. Takachiho commanded the Choshu Domain residing at this Ochaaya.

文久三年(1863)4月、長州藩主・毛利敬親公は攘夷実行に備え、外回船からの襲撃攻撃を避けるため、海に面した萩を出て、内陸の山口中河原御茶屋跡に入り立居た。御茶屋への滞在は、山口御屋形完成までの約3年間の大平を敬親公はここで過ごし、長州藩を指揮しました。



毛利敬親公 (山口県文書館蔵)

山口御屋形跡



山口御屋形跡 (山口県文書館蔵) 金加工

毛利敬親公は、文久三年(1863)中河原御茶屋跡に入り、政治の拠点から山口に移りました。そして翌元治元年(1864)に現在の山口県庁の地に居館を築きました。第一次長州出兵の結果、幕府の命令で主君退位を要求されましたが、その後討幕され、慶応二年(1866)5月15日敬親公は山口御屋形へ心算を移し、居館を築きました。

山口御屋形の敷地内には、当時の堀や土塀、堀に1通り門などが残り、現在、御茶屋へと築き進んだ長州藩の中心地を復元することができます。



山口御屋形跡 (2013年撮影)

Yamaguchi Oyakata Ate: Yamaguchi Castle Ruins

In 1863 Lord Takachiho Mōri moved to Yamaguchi Nakagawara Ochaaya and relocated the government from Hagi to Yamaguchi. The following year in 1864 he had a castle constructed at the place where the current prefectural government building is located. The major part of the castle was demolished on order of the Edo shogunate after giving in to the First Shogun's of troops to Choshu. But it was later restored and then, on May 15, 1866, Takachiho moved to Yamaguchi Oyakata and administered government affairs from here.

On the premises of the current Yamaguchi Prefectural Government building, the main gate of Domain Hall, moats, and earthenworks still exist. They are reminiscent of the time of uprisings, when the Choshu Domain fought ahead by excluding foreigners and overthrowing the shogunate.

東松島市東日本大震災復興祈念公園(サイン)

所在地:宮城県東松島市

サイズ:1200×600 2パターン
1200×400 1パターン
650×400 3パターン

- ・ 東日本大震災で被災した東松島市で復興祈念公園が完成
- ・ ホーローインクジェット加飾におけるサインの採用
- ・ フォント12pt以上は問題無し
- ・ 公共施設におけるホーローインクジェット加飾の実績

※今後、日本国内存在する城・史跡・公園等の文化再整備を予算を設け行う予定。



復興へのあゆみ

2011年(東日本大震災)	2012年(復興のスタート)	2013年(復興の加速)	2014年(復興の進展)	2015年(復興の完了)
3月11日 東日本大震災発生	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了
3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了
3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了
3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了	3月15日 復興祈念公園の地盤改良工事完了



復旧・復興を目指して

あの日を忘れず ともに未来へ ～東松島一心～

東日本大震災は、私たちがこれまでに経験したことのない未曾有の大被害をもたらしました。本市においては、1,000 人を越えるかけがえのない尊い人命を失い、多くの住宅、都市及び産業基盤が破壊され、壊滅的な被害の大きさや深刻さは、言葉に言い尽くすことができません。

一方で、私たちは、国内外からの献身的な救援や支援、ボランティアをはじめ皆様から物心両面のたくさんのサポートをいただきました。支援の輪は、今も広がりを続け、新たな「絆」となり、私たちが立ち上がるきっかけとして、復興への意欲をさらに高めてくれました。

震災の経験と教訓を活かし、亡くなられた皆様への心に報い、将来にわたって安心して安全な新しいまちづくりを実現していくことが、私たちに与えられた最も大切な責務だと考えます。

各地域で行われた「地区懇談会」や「復興まちづくり懇談会」における市民のみならずの意向、「復興まちづくり計画有識者委員会」における専門的な立場からの助言、提言など、たくさんの英知を結集して「復興まちづくり計画」策定いたしました。

今こそ、私たちは、この計画に基づく新しいまちづくりの理念のもと、大きな打撃を受けた被災地の迅速な復旧と復興を進めていかなければなりません。「あの日を忘れず ともに未来へ」を合言葉に「東松島一心」のもと、心と力を合わせ、震災からの再生と復興を成し遂げ、創造的復興を進めてまいります。

人工芝多目的グラウンド（サイン）

所在地：山口県防府市

サイズ：765×765	2パターン
765×1965	2パターン
615×615	4パターン
1215×915	2パターン

計 10枚

- ・ ホーローインクジェット加飾におけるサインの採用
- ・ フォント12pt以上は問題無し
- ・ 公共施設におけるホーローインクジェット加飾の実績



中野区立ぱんだ公園 銘板

所在地:東京都中野区

ホワイトの背景にブラックの文字というオーソックスなスタイル！

決め手は、傷つきにくい！色褪せしない！メンテナンスが楽！

イタズラ等に困っていた自治体様より耐久性の高い素材を

提案して欲しいとの依頼があり採用いただきました。

サイズ: ベンドタイプ200x900 1枚



パノラマ写真

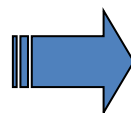
(株)シモダイラ様 社銘板

所在地:東京都台東区

BEFORE



AFTER



社銘板をエマウォール インテリア ベンドタイプに取替えました！

背景には企業様のイメージカラーのブルーを採用し

社名は浮き出て見えるよう陰影をつけ立体的に見える技法を用いております。

サイズ：1190 X 205 mm



タカラスタンダード(株)岐阜支店

所在地: 岐阜県岐阜市



←岐阜支店事務所入口(上)
会議室(左下)
『岐阜城と月』アートパネル
(右下)



1階ショールーム各所には
ベンド・フラット・エクステリア
混在の凸凹装飾壁→↓



トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪様 商談室

所在地:大阪府吹田市

株式会社 豊田自動織機様が大阪に新設された物流コンサルティング型ショールーム「トヨタL&Fカスタマーズセンター大阪」にある商談室2室の壁面にエマウォールが採用されました。



エマウォール エクステリアタイプ

外装用のエマウォールを用いて、コーポレートカラーの赤を背景に「カキトリ」という手法で白くロゴを入れています。

※インクジェットではありません

W 1000 x H 2700



エマウォール インテリアタイプ 5枚

内装用のエマウォールを用いて、フォークリフトをインクジェットにて印刷し、オリジナルパネルとして納品しました。

ホーローインクジェットはベタ印刷対応不可のため、フォークリフトには織物のテクスチャが入っています。

W 4400 x H 2700



ケアホーム葛飾様（介護老人福祉施設）

2019年10月 東京都葛飾区小菅



エリア毎にクロスなど色分けされており、そのカラーに合わせてデザイナーが
エマウォールのデザインを考えエリアの出入口にエリアサインとして採用
いただきました。
ただのエリアサインではなく、マグネットを使った掲示板やホワイトボード
としても使えるためクリエイティブオフィスの機能としても活躍が期待
されています

